

( 報告事項 )

第1314回経営委員会資料  
平成30年9月25日

# 予算の執行状況

(平成30年8月末)



# I 一般勘定の状況

## 1 予算との比較

8月末標準進捗率 41.7%

事業収入は3,045億円（進捗率42.5%）で、財務収入における配当金の受け入れや、受信料収入や雑収入（前々年度以前受信料の回収等）の進捗が進んだこと等により、全体としては標準をやや上回る進捗率となった。

事業支出は2,859億円（進捗率40.1%）で、効率的な事業運営により、全体として標準進捗率を下回る支出状況となった。

以上により、事業収支差金は186億円の黒字となった。

### 事業収入

- 受信料は、契約収納活動の推進により、受信契約件数が増加し、標準をやや上回る進捗率となった。
- 財務収入は、関連団体からの配当金により、標準進捗率を上回った。
- 雑収入は、前々年度以前受信料の回収が進んだこと等により、予算額を上回った。

### 事業支出

- 国内放送費は、堅調な支出状況となっているが、今後は本放送開始に向けたスーパーハイビジョン番組制作の強化による支出等が見込まれるため、進捗を注視していく。
- 国際放送費は、ニュース・番組の充実等を推進しているが、全体としては標準進捗率を下回った。
- 契約収納費は、契約取次数の増加に伴う契約収納手数料の増等により、標準進捗率を上回った。

## (事業収支)

(単位 億円)

区 分	予 算 額	8月 末 実 績 額	予 算 残 額	進 捗 率
事 業 収 入	<b>7,168</b>	<b>3,045</b>	<b>4,123</b>	<b>42.5%</b>
受 信 料	6,995	2,946	4,049	42.1%
交 付 金 収 入	35	14	20	41.5%
副 次 収 入	75	24	51	32.5%
財 務 収 入	35	32	2	92.5%
雑 収 入	23	26	△ 2	112.2%
特 別 収 入	2	0.2	2	11.5%
事 業 支 出	<b>7,128</b>	<b>2,859</b>	<b>4,268</b>	<b>40.1%</b>
国 内 放 送 費	3,424	1,355	2,068	39.6%
国 際 放 送 費	260	100	159	38.6%
契 約 収 納 費	628	280	348	44.6%
調 査 研 究 費	91	25	66	27.6%
給 与	1,164	466	697	40.1%
退 職 手 当 ・ 厚 生 費	492	204	288	41.6%
共 通 管 理 費 等	220	86	133	39.5%
減 価 償 却 費	803	334	468	41.7%
特 別 支 出	22	4	18	18.4%
予 備 費	20	—	20	0.0%
事 業 収 支 差 金	<b>40</b>	<b>186</b>	<b>△ 145</b>	<b>—</b>

## 2 前年同月との比較

事業収入は受信料の増収等により、前年同月と比べ61億円増の3,045億円となった。

事業支出は退職手当・厚生費等が減となった一方で、国内放送費と契約収納費の増等により、前年同月と比べ107億円増の2,859億円となった。

以上により、事業収支差金は、前年同月と比べ46億円減の186億円となった。

### 事業収入

- 受信料は、契約総数・衛星契約数ともに増加したことにより、前年同月を上回った。
- 財務収入は、関連団体からの配当の減等により、前年同月を下回った。
- 雑収入は、前々年度以前受信料の回収額の増等により、前年同月を上回った。

### 事業支出

- 国内放送費は、FIFAワールドカップ ロシア大会の放送実施経費や番組の充実等により、前年同月を上回った。
- 契約収納費は、法人委託手数料の増加等により、全体としては前年同月を上回った。
- 退職手当・厚生費は、退職給付費の減等により、前年同月を下回った。

## (事業収支)

(単位 億円)

区 分	前年同月末 実績額	8 月 末 実績額	増減額	
			増減額	増減率
<b>事業収入</b>	<b>2,984</b>	<b>3,045</b>	<b>61</b>	<b>2.1%</b>
受信料	2,859	2,946	87	3.0%
交付金収入	14	14	△ 0.01	△ 0.1%
副次収入	26	24	△ 2	△ 8.7%
財務収入	66	32	△ 33	△ 50.7%
雑収入	15	26	10	65.0%
特別収入	0.2	0.2	0.04	19.5%
<b>事業支出</b>	<b>2,751</b>	<b>2,859</b>	<b>107</b>	<b>3.9%</b>
国内放送費	1,251	1,355	103	8.3%
国際放送費	97	100	3	3.2%
契約収納費	246	280	34	13.8%
調査研究費	26	25	△ 1	△ 4.6%
給 与	460	466	5	1.3%
退職手当・厚生費	273	204	△ 68	△ 25.0%
共通管理費等	78	86	8	10.4%
減価償却費	311	334	22	7.2%
特別支出	4	4	△ 0.4	△ 9.9%
<b>事業収支差金</b>	<b>232</b>	<b>186</b>	<b>△ 46</b>	<b>-</b>

### 3 受信料の状況

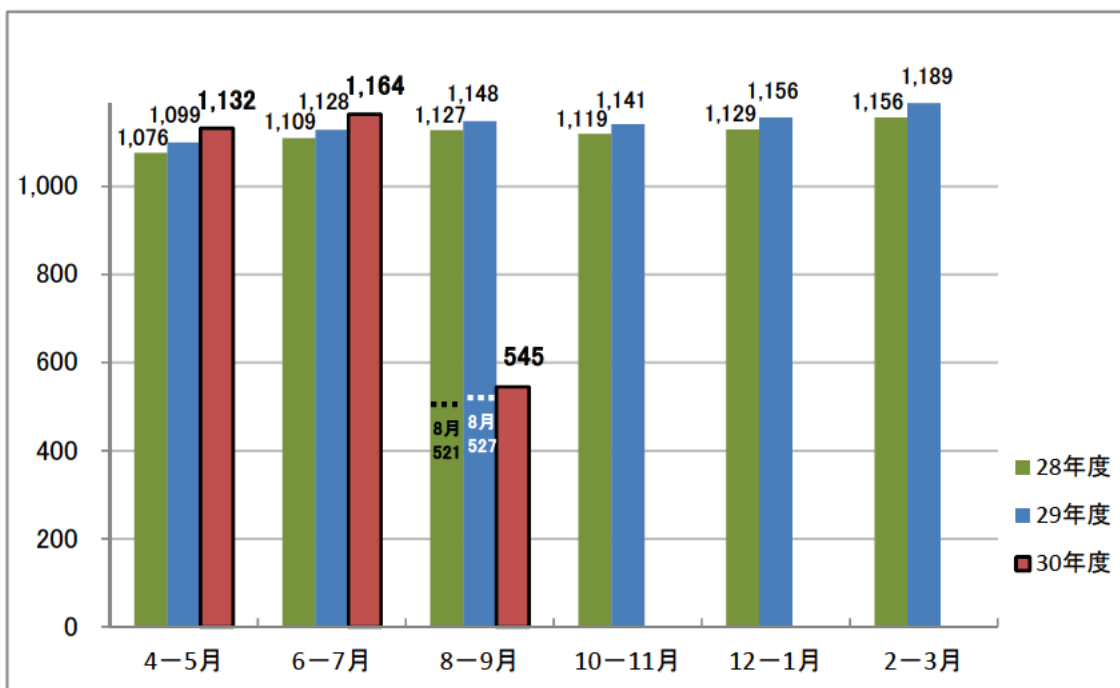
受信料は、受信契約件数の増加により前年同月に比べ87億円増加した。  
 受信契約件数については、契約総数は年間計画を上回り、衛星契約数は標準進捗率を上回った。

(単位 億円)

区 分	29年度 8月末	30年度 8月末	増減額
受 信 料	2,859	2,946	87
受信料収納額	2,756	2,843	87
回収予定額	103	103	△ 0.01

#### 受信料収納額の期別推移

(単位 億円)



## 受信契約状況

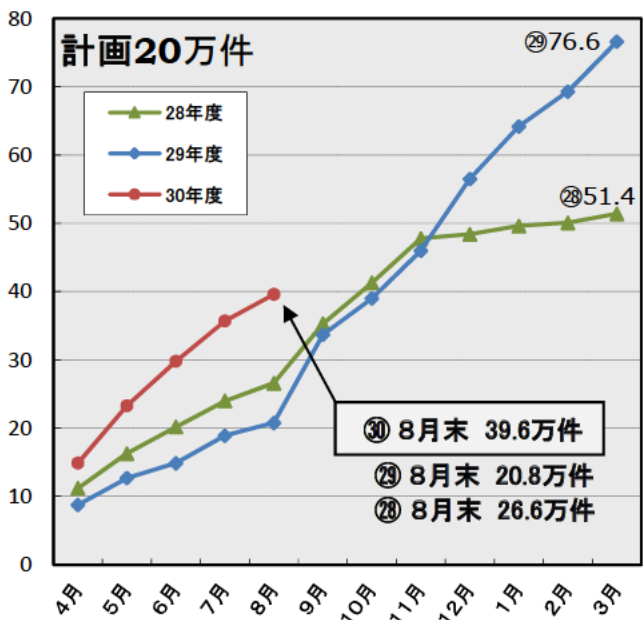
8月末標準進捗率 41.7%

(単位 万件)

区分	29年度			30年度			30年8月末 契約現在数
	計画	8月末実績	進捗率	計画	8月末実績	進捗率	
契約総数	50	20.8	41.6%	20	39.6	197.8%	4,145.6
衛星契約数	60	25.6	42.7%	46	34.6	75.2%	2,129.9
未収数 (7月末)	△ 11	△ 0.1	1.3%	△ 4	△ 4.9	123.2%	78.8 (7月末)

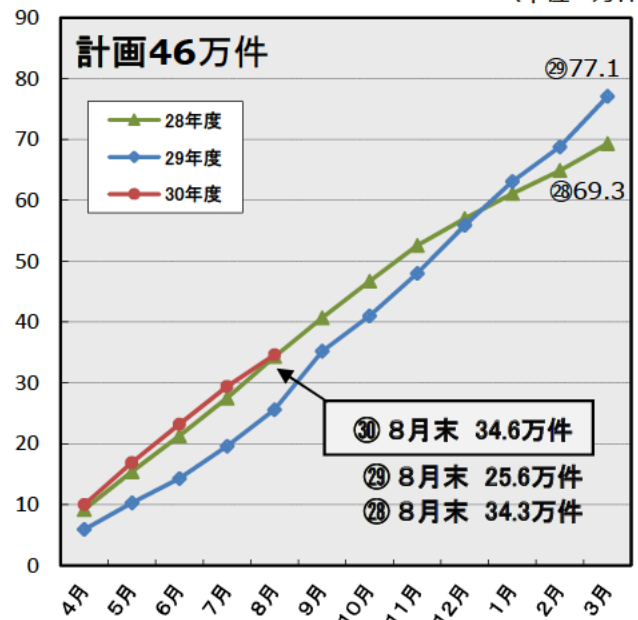
### 【契約総数増加】

(単位 万件)



### 【衛星契約数増加】

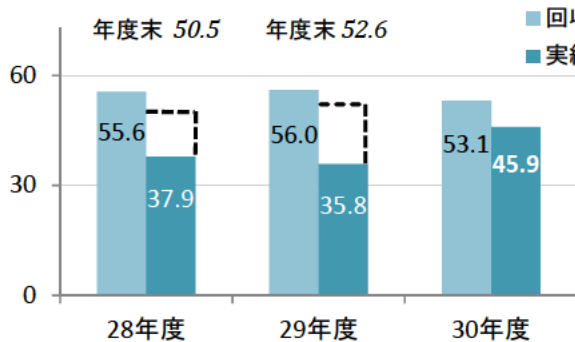
(単位 万件)



### 【参考】前年度・前々年度以前受信料の回収額

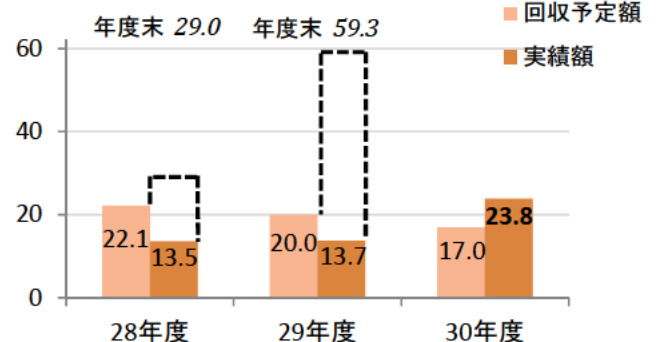
・前年度受信料回収額

(単位 億円)



・前々年度以前受信料回収額 (雑収入に計上)

(単位 億円)



## Ⅱ 放送番組等有料配信業務勘定の状況

### 事業収支のポイント

事業収入は8.9億円で、視聴料収入は標準進捗率を上回ったものの、事業者提供料収入の減等により、全体としては標準進捗率を下回った。

事業支出は8.1億円で、効率的な業務実施により標準進捗率を下回った。

以上により、事業収支差金は0.7億円の黒字となった。

(事業収支) 8月末標準進捗率 41.7%

(単位 億円)

区 分	予算額	8月末実績額	予算残額	進捗率	前年同月末実績額	増減額
事業収入	22.2	8.9	13.3	40.0%	8.7	0.1
うち視聴料収入	20.2	8.5	11.6	42.3%	8.0	0.5
うち事業者提供料収入	2.0	0.3	1.6	17.2%	0.7	△ 0.3
事業支出	21.9	8.1	13.8	36.9%	8.3	△ 0.2
事業収支差金	0.2	0.7	△ 0.5	-	0.4	0.3

### 視聴料収入の単月推移

